

令和5年6月定例会の概要

令和5年6月定例会が、6月15日から30日までの日程で開催されました。会派所属議員が行った市政一般質問ならびに可決した6月補正予算の概要についてご報告致します。

今任期最後の定例会



左から近内利男、佐藤政喜、大城宏之、鈴木祐治、塩田義智、七海喜久雄、久野三男、森合秀行

議員紹介

4期・大槻町
☎951-2316
顧問(元議長)
議会運営
総務財政
佐藤 政喜
さとう まさき

4期・緑ヶ丘
☎942-7967
副会長・政務活動費
建設水道(委員長)
近内 利男
こんない としお

4期・方八町
☎943-3200
副会長
市監査委員
環境経済
久野 三男
ひさの みつお

4期・三穂田町
☎945-2015
市議会議員
塩田 義智
しおた よしとも

5期・中田町
☎922-9587
顧問(前議長)
環境経済
七海喜久雄
ななうみ きくお

2期・安積町
☎953-7885
広報・会派会計
議会運営(副委員長)
総務財政(副委員長)
広聴広報(委員長)
森合 秀行
もりあい ひでゆき

5期・安積町
☎945-6566
会長
議会運営
文教福祉
大城 宏之
おおしろ ひろゆき

6期・田村町
☎955-2172
顧問(元副議長)
文教福祉
鈴木 祐治
すずき ゆうじ

※氏名(期数、地区、連絡先、会派役職、市議会役職)

6月定例会市政一般質問

要旨

郡山カルチャーパーク (ドリームランドの遊具について)

問 来年の市制100周年を契機としてドリームランドに新しいアトラクションの設置、あるいは、アトラクションの大規模なリニューアルを検討すべきと考えるが、見解は。



森合 秀行



答 2021年度に専門業者による健全度調査を実施したところ、近い将来、全面的な遊具の更新が必要との診断がなされた。このことから、「郡山カルチャーパークの今後の管理運営に係る懇談会」を今年度から開催することとし、新たなアトラクションの設置やリニューアルについて、検討する。



設置から30年が経過し、老朽化が否めないドリームランド(郡山カルチャーパーク内)

いじめ問題について (更なるいじめ対策について)

問 大阪府寝屋川市では、市長部局に監察課を設置し、いじめの早期発見のための情報収集といじめの抑止効果を目的として毎月1回、市立の小中学校の児童・生徒にいじめ通報促進チラシを配布し、事態の早期収拾を図るための対応をとるなど、「寝屋川モデル」として注目されている。本市でも、このような取り組みなどを参考に、更なるいじめ対策について調査研究すべきと考えるが、見解は。

答 今後、寝屋川市等他市の取組例を調査研究するとともに、関係機関との連携を一層深め、いじめ対策に取り組んでいく。

物価高騰対策と地元経済の 振興策について

問 地元飲食店や商店街の売上げアップや物価高騰で生活が大変な市民全体のた

めに、プレミアム電子クーポンの発行を検討すべきと考えるが、見解は。

答 本市独自のプレミアム電子クーポンの事業の実施は予定していない。事業者のアフターコロナや物価高に対応する経営のニューノーマルの構築など投資的経費に軸足を置いた支援を行う。



大阪市の例

総合体育館のトレーニング室に ついて

問 総合体育館のトレーニング室が、改修による休館で1年間使用できなくなる。使用不可の状態を回避するための施策はないのか。



久野 三男



答 休館中における他施設などでのトレーニング器具を移設しての利用は考えていない。なお、本市には、安積総合学習センターや富久山総合学習センターにおいても器具を設置していることから、当該施設の利用について広く周知していく。



宝来屋郡山総合体育館トレーニング室

認可外保育所への支援について

問 認可外保育施設の「保育の質の確保・向上」を図るため、市の積極的な支援が必要と考えるが、見解は。

答 1995年度から運営費、2005年度から研修費の支援を実施し、本年度も11施設、約1,075万円の助成をしている。また、今年度、認可外保育施設40施設に対して、登園管理支援システムやこどもの見守りタグ(GPS)の導入を支援する予算2,880万円を計上し、保育士等の負担軽減

や働きやすい環境整備を図っていく。

環状道路の整備について

問 環状道路の整備状況と今後の整備方針は。

答 本市を通る国道4号バイパスや国道49号等の広域交流道路に接続する、都市計画道路笹川大善寺線、内環状線及び東部幹線の3環状線の整備を重点的に進めてきた。整備状況については、2019年9月には、笹川大善寺線の暫定2車線開通、同年12月には、内環状線の芳賀・横塚地区の開通、2021年6月には県事業により実施された東部幹線久保田・水神山工区の開通により、市内都市計画道路の整備状況は、全体計画74路線、204kmのうち、147km、72%の整備が完了した。今後は、高いストック効果が見込める路線の整備を推進し、全ての人々が安心して円滑に移動できる道路ネットワークの構築に努めていく。



郡山市環状道路網計画図

広域連携事業(次期ビジョンの 策定)について

問 5年間の取り組みをどのように評価し、次期ビジョンに反映させるのか、次期ビジョンの策定スケジュールと合わせて伺う。



近内 利男

答 現時点での成果指標の達成率については、中小事業者の創業支援事業など90%以上の十分に達成している事業が26事業、あさかの学園大学



の長寿社会対策推進事業などが70%から90%未満の概ね達成している事業が8事業となっている。次期ビジョンには、現ビジョンの定量的定性的な評価に加え、コロナ禍の影響等も踏まえながら、外部の有識者にも検証してもらい、それらを反映させる。策定スケジュールは、圏域の有識者からなる都市圏ビジョン懇談会と各首長による連携推進協議会を10月および2月に開催する予定である。

交差点の安全対策について

問 1月2日の大平町の死亡事故を受けて、1月に行われた緊急点検や4月で追加となった箇所の安全対策に係る今後の進捗状況とスケジュールは。

答 対策が必要とした238箇所の交差点について、現在、安全対策を進めている。対策の内訳としては、カラー舗装45箇所、区画線や路面標示108箇所、合わせて193箇所は市が施行し、残る45箇所は、県公安委員会が実施する停止線などの補修となっている。対策の進捗状況と今後のスケジュールについては、本市が実施する193箇所のうち、148箇所が現在工事中で、残りは10月までには施行が完了する見込みである。県公安委員会が実施する補修45箇所については、8月には16箇所が完了する予定で、残りは年内の完了を目標に行っている。



本年1月2日、大平町で発生した4名の交通死亡事故後、改良された交差点。(近内議員本人撮影)

麓山立体駐車場の事前精算機の増設について

問 事前精算機は、現在2機あるが、数十人単位で精算に来た時には長蛇の列になり、何らかのトラブルで、1台使えない状態になった時には混雑に拍車がかかる。リスクマネジメントの視点からも1台増設し、3台とすべきと思うが、見解は。

答 混雑の緩和には、出口ゲートにおいて、チケットレスとなる事前精算機の利用率向上が有効であることから、これまでに、利用促進ポスターの場内及び周辺施設へ掲示など周知に努めてきた。その結果、2月

末時点で15.9%であった利用率は、5月1か月の期間では23.5%と向上し、出場に要する時間短縮等に一定の効果が表れてきた。現在、設置している事前精算機2台の更なる利用率向上と新たな事前精算機の設置の必要性も検討を進めるなど、駐車場からの出場時の混雑緩和に取り組んでいく。



事前精算機設置場所 (麓山立体駐車場)

郡山中央スマートインターチェンジ周辺の交通渋滞緩和について

問 高速道路の東側(大槻町側の県道郡山矢吹線)は、夕方の帰宅時の自動車渋滞がひどく、警察アパート北側の信号が、時差式信号となっているものの右折レーンが無いため渋滞が発生し、高速道路から下りてきた車が県道に合流できない状況が見受けられる。現在、高速道路西側には地区計画で物流団地構想も進んでいることから、早急に右折レーンの新設を県に強く要望し、渋滞を緩和すべきと思うが、見解は。



佐藤 政喜



答 毎年福島県と実施している「まちづくり意見交換会」において、2017年度より継続的に県道郡山矢吹線の警察アパート北側の交差点への右折レーンの設置を要望してきた。しかし、今後の交通量の増加も見込まれるなか、未だ事業化に至っていないことから、7月3日に開催を予定している「まちづくり意見交換会」で、県に対し当該箇所の右折レーンの設置を強く要望する。



郡山中央スマートIC

人口減少について

問 郡山市が置かれている条件等を考えれば、人口減少を容認するのではなく、人口増加に向けての政策を打ち出すべきであると思うが、見解は。

答 今後の状況は、近年の少子化傾向の影響を受け、一段と厳しさを増していくことから、人口減少に適応した街づくりを、現実問題として備えていくことも重要である。「増えてもらいたい」という願望と現実とは混同してはいけないので、現実を冷静に見据え、併せて、それぞれの政策を進めていく。

堆肥センターの建設について

問 下水汚泥、生ごみ、畜産から出る堆肥、稲わら、もみ殻等、地域で出来る国内資源を使用した大規模な堆肥センターをJAや関係団体と協力して市内の東西に建設し、市内に市内資源で出来た優良な堆肥の供給を検討すべきと思うが、見解は。

答 堆肥センターの建設については、利用者ニーズの把握をはじめ、施設の管理運営主体や、利用者間における運営に関する費用の分担など、様々な課題が想定されていることから、入念に事前の合意形成を図ることが重要と考える。更に、畜産農家から施設への家畜ふん尿の運搬方法をはじめ、生産される堆肥の成分分析や、堆肥を農地へ還元するまでの作業工程、臭気や粉じんによる市民生活への配慮など、周辺環境への影響に対する課題もあると認識する。今後、農業法人を含む農業経営体のニーズ等を把握し、堆肥センターのあり方や、こおりやま広域圏内における流通、更には、本市、田村市、いわき市などJA福島さくら管内における広域連携の可能性について、JAや肥料メーカー等関係機関と意見交換を行い、庁内関係部局とも連携を図りながら検討する。



三春町の堆肥センターの例 (三春町まちづくり公社のウェブサイトから)



令和5年6月補正予算の概要

■ 地域公共交通事業者・運送業者等への支援 8,535万円

地域公共交通事業者の運行維持、運送業者の地域物流確保に向け、原油価格・物価高騰に対する支援のほか、省エネ対策に資する整備、コスト削減・業務効率化などの投資的経費に対する支援を行います。

■ 新型コロナウイルスワクチンの接種体制を確保 10億5,635万円

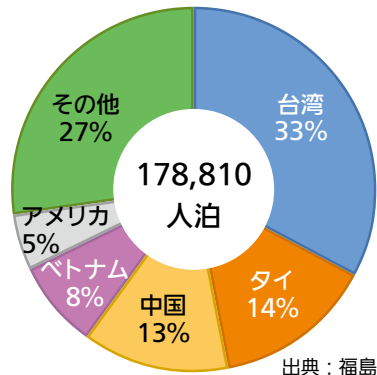
新型コロナウイルス感染症の重症化予防及び発症予防を目的として、新型コロナウイルスのワクチン体制を確保し、2024年3月末まで接種を実施します。



■ 海外からの観光誘客・輸出促進のプロモーションの強化 2,882万円

地域産品の輸出促進及びインバウンド観光拡大のため、こおりやま広域圏・農商工等連携により海外プロモーション活動を強化します。

福島県外国人宿泊者数(2019年)



■ (仮称) 歴史情報・公文書館の展示システム・展示品を整備 9億5,321万円

市内の文化施設等と連携し、「歴史・情報のハブ」拠点としての役割を担う博物館とするため、様々な歴史資料の提示に合わせ、デジタルコンテンツ及びアーカイブシステムを整備します。



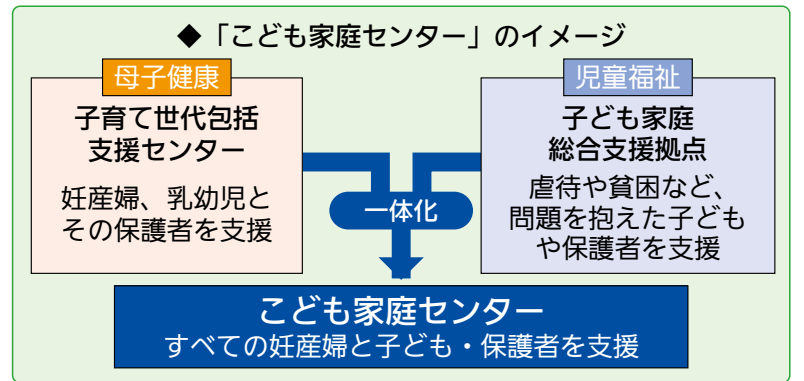
■ 福島県指定重要文化財「開成館」を復旧 9億6,800万円

「開成館」の福島県沖地震及び老朽化からの復旧を図るとともに耐震補強を行い、明治時代の一大プロジェクト「安積開拓」の歴史を伝える施設を活用します。



■ こども家庭センターを開設 1,620万円

児童福祉法に基づく「こども家庭センター」の開設に向け、ニコニコこども館の環境整備を行います。



■ カラス追払い対策の強化 500万円

専門家へカラス対策のコンサルティングを依頼し、関係団体と連携を図りながら、追払い対策を総合的に強化します。



■ 野菜安定生産のための支援 4,516万円

JAギガ団地構想に位置付けられた「夏秋きゅうり」の施設、輸出を見据えた「サツマイモ」の機械等を導入し、産地化に取り組む営農集団を支援します。

郡山市議会議員の 虚礼廃止

選挙によって選出される議員等の職にあるものが、暑中見舞状などの時候のあいさつ状(電報も含む)を出すのは、「答礼のための自筆によるもの」以外は公職選挙法により禁止されています。市民の皆様には、この趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

編集後記

本市の姉妹都市である久留米市をはじめ今月の記録的豪雨による土砂災害などで犠牲になられた方や被害に遭われた方に対して心よりお見舞い申し上げます。志翔会だよりも今号で創刊から25号目の発行となりました。市民の皆様には、日頃から様々なご意見をお寄せ頂き誠にありがとうございます。今後も志翔会の活動指針の一つである、市民福祉の向上のため、市民の意見に沿った議会活動をモットーに邁進して参ります。これから暑い日が続きます。こまめに水分補給するなど熱中症には気をつけてお身体ご自愛下さい。(森合秀行)